

平成26年度第5回宇都宮市河内自治会議録

1 日 時 平成26年10月23日(木) 午後1時30分～午後4時00分

2 場 所 河内地域自治センター 第1・2会議室

3 出席者

【委員】 杉原弘修委員(会長), 川上幸子委員(副会長), 加藤幸雄委員, 櫻井基一郎委員, 宗像茂委員, 大谷津健敏委員, 関口啓子委員, 中村房夫委員, 森由利子委員, 山田ちい子委員, 我妻勝次委員, 若林知委員, 小森光晴委員, 永井寛委員, 計14名

【事務局】 河内地域自治センター所長, 地域自治制度担当副参事, 地域経営課長, 地域づくり課長, 産業土木課長, 他4名 計9名

4 会議の公開・非公開 公開

5 傍聴者数 なし

6 会議経過

(1) 開会

・本日の会議の出席者数は14名, 小野章委員, 君島京子委員, 多田出芳子委員, 中澤敏美委員, 山田祐子委員, 船橋あけみ委員が欠席。委員数の過半数に達しているため, 会議が成立することを事務局から報告。

(2) 協議事項

①地域のまちづくりに関する施策の提案について

・実現プラン(グループ協議)

会 長	<p>前回の会議でご審議いただいて確定した答申書を8月20日に副会長とともに市長へ提出した。新聞に取り上げられた記事の写しを配布した。</p> <p>地域のまちづくりに関する施策の提案についての協議を行う。</p> <p>本日欠席者が多いため, 1つのグループが3人となった。本日は2つのグループに編成替えをして協議をしていただきたい。</p> <p>前回の会議でグループ協議を行った, テーマ「産業・経済, 観光」の目標と実現方策について, 私と副会長で整理し, 資料としてまとめた。まず目標と実現方策について確定をしていく。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	参考資料と資料1を説明
会 長	事務局から説明があったが, 何か意見, 質問があるか。
委 員	なし
会 長	この目標と実現方策で確定する。本日のグループ協議の進め方について, 事務局から説明をお願いします。
事務局	資料2, 3を説明
会 長	事務局から説明があったが, 何か意見, 質問があるか。
委 員	なし
会 長	「実現プラン」について, グループ協議を進めていただく。各グループには, サポート役として事務局職員が入り, 私も各グループを回るため, 何かわからない点などがあたら質問してほしい。

実現プランのグループ協議を実施

会 長	A・Bの順で発表をお願いする。
委 員	<p>Aグループの発表をする。</p> <p>産業・経済の実現方策「地域の特産物のブランド力を高める」の実現プランは、「地域特性を生かしたこだわりの特産品を作り、広くPRする（IT活用）」</p> <p>実現プランの説明をする。</p> <p>道の駅の開設が難しいのであれば、まちの駅の開設や地域の生産品の紹介をホームページで発信する。河内地区の企業の協力を得て地元の特産物をPRする。有名タレントを招いてPRする。ITを活用して広くPRするということ。</p> <p>実現方策「農業の魅力に浸透させ担い手を育成する」の実現プランは、「付加価値の高い農産物を生産して収益の向上を計る」</p> <p>実現プランの説明をする。</p> <p>農業就労を希望する若者を探し出す。農業の魅力を理解するため講演会を開催する。退職者に農業に従事してもらい野菜等の栽培研修をする。無農薬の農産物の生産を促進する。利益が無いとやりがいがないので付加価値のある農産物を作っていくということ。</p> <p>実現方策「地域と企業との交流を図り連携する」の実現プランは、「河内地区全体が参加できるイベントなどを開催する」</p> <p>実現プランの説明をする。</p> <p>河内地区には白沢工業団地がある。企業と住民の交流を図るイベントを実施する。例えば、企業の夏祭り等の参加や河内ふるさと産業まつりに多くの企業に参加していただき、拡大化を図る。地域企業の協力を得ないとできない。</p> <p>観光の実現方策「文化財を有効活用し観光につなげる」の実現プランは、「文化財巡りのツアー企画する」</p> <p>実現プランの説明をする。</p> <p>文化財を巡るツアーの企画をしたり、マスメディア等で全国発信する。地域内の観光看板を設置する。白沢宿には看板はあるが、それ以外に看板は設置されていない。</p> <p>実現方策「自然環境の良さを活かし河内らしい観光スポットを充実させる」の実現プランは、「地域マップを生かして里山や農村風景を生かしウォーキングルートを作成」</p> <p>実現プランの説明をする。</p> <p>文化、自然のマップを作る。自然に触れ合う美しい居場所作りをする。まちづくり協議会が主体となりマップを作る。岡本城の整備をし、飛山城のような案内ボランティアを作る。</p> <p>実現方策「伝統文化を守り続ける継承者を育成する」の実現プランは、「地域の小中学校の協力を得て伝統文化講座を開催する」</p> <p>実現プランの説明をする。</p> <p>伝統文化の勉強会を開催する。小中学校のクラブを利用して伝統を継承させる。継承者のやりがいを持たせるためにも伝統文化を地域に浸透させる。</p> <p>河内地区は、産業・経済、観光が苦手な地域なので、作成した実現プランが1つでも実現できればと思う。</p>
委 員	<p>Bグループの発表をする。</p> <p>産業・経済の実現方策「地域の特産物のブランド力を高める」の実現プラン</p>

	<p>は、「地域の特色を出すネーミングを考える」「地域の農産物のカレンダーを作る」「地域から発信（I T利用）し販路の拡大を図る」</p> <p>実現プランの説明をする。</p> <p>ネーミングは重要で、ネーミングによってブランド力も高まる。河内地区は年間を通して農産物が収穫されている。農産物のカレンダーを作り、ブランド力の向上とPRを兼ねる。全国へ発信するには、I Tの利用をして販路の拡大をする。</p> <p>実現方策「農業の魅力を浸透させ担い手を育成する」の実現プランは、「食育をとおして農業の良さを体験させる」「優秀な農家の人に事例を発表してもらう」「体験農業の場（オーナー制度も）ツーリズムを取り入れる」</p> <p>実現プランの説明をする。</p> <p>小中学生に食育を通して、農業の良さを体験させると農業の素晴らしさと担い手を育成することができる。農業を営んでいる優秀な方等に農業の魅力の事例を紹介してもらおう。家族を取り入れたオーナー制度を利用して体験することで農業の素晴らしさを学んでもらう。</p> <p>実現方策「地域と企業との交流を図り連携する」の実現プランは、「地域と企業の一体化したイベントの実施」「商工農で関連した研修会を立ち上げる」</p> <p>実現プランの説明をする。</p> <p>地域住民と企業との一体化したイベントを実施する。商工農で関連した研修会を実施して河内の特色ある農産物の販路を拡大し、ブランド力を高めていく。</p> <p>観光の実現方策「文化財を有効活用し観光につなげる」の実現プランは、「文化財と特産物マップを作り看板にする」「観光案内のボランティアガイドの育成」「文化財の伝統行事を一体化した祭りにする」</p> <p>実現プランの説明をする。</p> <p>文化財や特産物の販売所、飲食店等を盛り込んだマップを作成し看板にする。看板だけだと、すべてが網羅されたことにならない。観光案内のボランティアガイドを配置されていれば、自分たちの地域に誇りも持てる。各地区で実施している伝統行事等を一体化した祭りにして盛り上げていく。</p> <p>実現方策「自然環境の良さを活かし河内らしい観光スポットを充実させる」の実現プランは、「文化財及び自然環境巡りウォーキングコースの整備」「観光スポットの休憩所、駐車場を整備する」</p> <p>実現プランの説明をする。</p> <p>ウォーキングコースのほかに自転車ロード等の整備が必要。観光スポットの休憩所や駐車場の整備も必要ではないか。</p> <p>実現方策「伝統文化を守り続ける継承者を育成する」の実現プランは、「小中学校で地域の伝統文化を学び実践する」「若者達で伝統行事の立案・実施を行う」「地域がこれまでの古い祭りを掘り起こし地域の宝にする」</p> <p>実現プランの説明をする。</p> <p>伝統文化の継承者を育成するには、小中学校で体験させて育成する。伝統行事を行う人が高齢化しているので、若者達で行事を立案して実施すれば、後継者育成に繋がる。地域の伝統行事はあるが、古い祭りを掘り起こし伝統文化として地域の宝にしていく。</p>
会 長	各グループの発表が終わったが、何か意見、質問はあるか。

委員	Aグループの産業・経済の実現方策「農業の魅力浸透させ担い手を育成する」の実現プラン「付加価値の高い農産物を生産して収益の向上を計る」の付加価値の高い農産物を生産して利益を得ることは理解できるが、利益の向上と担い手を育成することとどのように繋がるのか。
委員	利益を得ないと農業従事しない。親が農業経営して採算が合わない場合には、次の世代は農業に従事しない。
委員	農業の担い手を育成するために、地域によって土地の状況等により米や野菜等の栽培が適している所と適していない所があるので、作物のすみ分けを考えなければできないということで意見を出した。
委員	産業・経済の実現方策「地域の特産物のブランド力を高める」の実現プラン「地域の農産物のカレンダーを作る」は、ニラや米などの写真を入れると思うが、農産物を使ったレシピも加えると良いと思う。
委員	ネギ部会等でカレンダーを作成している。そのようなカレンダーを利用すれば良いと思うが、お金がかかる。誰が作るのか。
委員	生産者等をお願いするようになると思う。
委員	実現プランでは「誰が主体になるのか。」とは言えないので、あいまいな表現にしたほうが良い。
委員	了解した。
会長	実現プランになると、実行できるかできないかという議論になる。その中で、知恵を出し合いいろいろな意見が出ると良い。 その他、何か意見、質問はあるか。
委員	なし
会長	本日、皆さんからいただいた意見については、副会長と整理し、次回の会議でお示ししたいと思うが、一任願えるか。
委員	了解した。

・提案書（素案）

会長	来年2月に提出する提案書について、昨年度からグループ協議している。地域のまちづくりの施策の提案について協議結果のもと、提案書の素案を作成した。事務局から説明をお願いする。
事務局	資料4の説明。
会長	事務局から説明があったが、何か意見、質問があるか。
委員	なし
会長	本日、皆さんからいただいた意見と実現プランを踏まえたいうえで、私と副会長で協議し、文言等について整理を行い、提案書（案）としてまとめ、次回の会議で協議しお示ししたいと思うが、一任願えるか。
委員	了承
会長	次回の会議では、本日協議いただいた、実現プラン及び提案書（案）について全体協議を行う。

(3) その他

- ・ 次回の開催日程について平成26年12月16日に開催予定。日程等の詳細は後日連絡
- ・ 「彫刻屋台祭り」についての紹介

(4) 閉会